

資料 3

電子カルテ・オーダーリングシステム

システムのチェックリスト

(案)

## 電子カルテ・オーダーリングシステム

### システムのチェックリスト (案)

#### I. 真正性

1) 作成責任者の識別および認証

- パスワード    ICカード  
生体認識（声紋、指紋、その他\_\_\_\_\_）  
その他（\_\_\_\_\_）

2) 作業が終了したことを、どのようにシステムが検知するか

3) 作業終了を検知できない場合、利用者作業の中断を許す時間は何か

4) 情報の保存タイミングを制御するために確定操作ができるか

5) 確定操作を行った利用者の識別情報を保存情報に付加できるか

6) 更新履歴の保存機能はあるか

7) 過失による虚偽入力、書き換え、消去および混同の防止対策は講じられているか

8) 故意による虚偽入力、書き換え、消去および混同の防止対策は講じられているか

- 9) 書き換えについて    入力（\_\_\_\_\_）時間後よりロック  
                                  書き換え時に過去の履歴が画面ですぐにわかる  
                                  一定時間後の書き換えは管理室（者）許可が必要

#### II. 見読性

1) 情報の所在管理について、分散保存された情報を関係付ける機能はあるか

2) 見読化手段の管理として、保存情報を見読するための手段が対応付けられて管理されているか

- 3) 情報の区分を設定できて、その区分に従ってアクセス権等の設定が可能か
- 4) 適切で安全なシステム利用が保証されているか
- 5) 利用者管理の手順が明確になっているか

### Ⅲ. 保存性

#### 1) 媒体の劣化対策

- ・ システムで利用する保存媒体の、保証された保存期間は何年か
- ・ その期間が診療録および診療諸記録の法的保存義務年限より短い場合は、  
・ 新たな媒体に複写できるか

#### 2) ソフトウェア・機器・媒体の管理

不適切なソフトウェアによる情報の破壊・混同を起ささないためにソフトウェア・機器・媒体の管理が適切にできるか

#### 3) 継続性の確保

システムの更新に際して以前のシステムで蓄積した情報の継続的利用を図るための対策は講じられているか

#### 4) 情報保護機能

故意または過失による情報の破壊が起こらないための機能を備えているか。  
また破壊が起こった場合の回復機能を備えているか

- 5) データ保存は
- ホストコンピューターのみ
  - バックアップあり (ハード \_\_\_\_\_ 台、 \_\_\_\_\_ 日毎)
  - CD等に保存 ( \_\_\_\_\_ 日毎)

### Ⅳ. その他

- 1) 相互利用性は留意されているか
- 2) 運用管理規定は公開可能か

3) プライバシー保護はどのように講じられているか

4) 操作性について

①入力の方法について

マウス ペンタッチ その他 ( )

②診察内容の記載（患者の訴え、理学的所見等）の簡便性

文字入力 容易 難  
選択文書 豊富 普通 少ない 無し

③オーダーの利便性

従来のオーダーリングシステムを使用  
便利 不便  
 電子カルテ専用オーダーリング  
便利 不便

④検査結果・画像の見読性

操作性 便利 不便  
時系列 便利 不便  
画像の質 良 並 悪

⑤カルテへのアクセス

当該診療部門のみ 院内どこからも可能  
附属施設からも可能 院外からも可能

5) カルテの管理ははどこで誰が行っているか

各診療科 情報管理室 関連病院を含めて本部管理 その他